

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	8 高校, 高等教育の充実
-----	---------------

施策主管課	教育企画課	総合計画記載頁	113ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	9 信頼される学校教育を推進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。
------	------------------------	----------------	------------------	---------------------	---------------------------------------

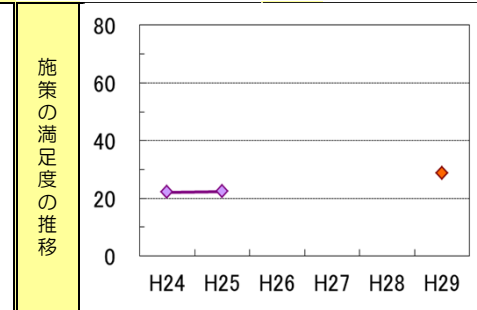
2 施策の取組状況

施策目標	市民が自己実現を図るために必要な、高度で専門的な学習機会や場が充実しています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	市内8大学の公開講座数(講座)	単年度目標値	75	78	81	84	87			90	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	22.1%	22.4%		
	現状値	73講座	実績値	73	94					目標値(H29)	28.7%			前年度からの増減		0.3%			
	目標値(H29)	90講座	単年度の達成度	97.3%	120.5%					③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B
指標2	奨学金貸付基準を満たす希望者のうち貸与を受けることができた者の割合(%)	単年度目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値	100%	実績値	100.0%	100.0%													
		目標値(H29)	100%	単年度の達成度	100.0%	100.0%													
奨学金貸付者数(人)／10万人 ※ 貸与型分(給付型は除く) ※ H24.3.31時点		中核市平均	35	-															
		実績値	93	-															
		中核市での本市の順位	1位/29市中	-															
奨学金貸付額(千円)／10万人 ※ 貸与型分(給付型は除く) ※ H24.3.31時点		中核市平均	12,144	-															
		実績値	43,359	-															
		中核市での本市の順位	1位/29市中	-															

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因, 進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 国は、各大学等における教育資源を活用し、社会人の学び直し(リカレント)ニーズに対応した教育プログラムを支援している。 国は、家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生が、安心して学習に打ち込める社会をつくるため、公立高等学校の授業料無償化及び私立高校の学費負担軽減を図る就学支援金など家庭の教育費の負担を軽減する施策を22年度からスタートさせた。今年度より、これまでの制度を見直し、公立私立を問わず、高校等の授業料の支援として、一定の収入額未満の世帯に就学支援金を支給する制度に改めたうえで、私立高校に通う低所得層には支援金を加算している。さらに、授業料以外の教育費の支援として、低所得層向けに、高校生等奨学給付金制度を創設した。また、国において学生への経済的支援のあり方について検討がなされていることから、奨学金制度における国と地方の役割分担を見極める必要があり、今後も国の動向を見守っていく。 	市民満足度	「公開講座」や「奨学金貸付事業」の継続的な取組により、市民意識調査の結果が若干ではあるが向上していると考えられる。	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 市内8大学における公開講座の実施等により市民の学習機会・場の充実が図られている。 奨学金貸付事業の実施により、貸付を必要としている者に対する修学機会の確保が図られている。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	宇都宮大学教育学部連携事業	★	高校・高等教育機関, 企業との連携・活用事業	・市内小中学校教員 ・教育学部学生 ・市職員 ・宇都宮大学教員	①連携協議会の開催 ②分科会の開催	計画どおり	0	H18		今後も宇都宮大学教育学部との連携事業を継続し, 理論と実践を統合した研究を重ね人間力向上を推進していく。
2	市民大学運営協議会交付金	★	各種講座・事業の充実	市内在住, 在勤, 在学の者など	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	2,700	H5		平成23年度から新たな取組として, 合同開講式や公開講座を開催し, より多くの市民の学習機会と交流機会の創出を図るなど施策目標の達成に貢献している。平成25年度には交付金を増額し20周年記念事業を実施したところである。引き続き, 地域教育の推進に資する講座の充実や大学連携事業の充実に努めていく。
3	奨学金貸付事業	★	・奨学金貸付制度の充実 ・入学一時金貸付制度の充実	・経済的理由により, 高校・大学等への修学が困難な者 ・高校・大学等へ入学する予定の者の保護者	・奨学金の貸付 ・入学一時金の貸付	計画どおり	248,512	・S43 ・H19		過去に貸し付けた奨学生からの返還金をもとに, 新たな奨学生への貸付を行っていることから, 収納対策を強化し, 収納率の向上を図る必要がある。また奨学金を必要としている者が貸付を受けられるよう, 制度周知に努めるとともに, 利用者のニーズを的確に把握し, 社会経済状況を見極めながら, 必要に応じ制度の見直しを検討していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国は, 各大学等における教育資源を活用し, 社会人の学び直し(リカレント)ニーズに対応した教育プログラムを支援している。より高度で専門的な学習機会を提供するリカレント教育については, 市民ニーズにあわせた公開講座の開催が必要である。 ◆奨学金貸付事業については, 基準を満たした希望者全員に貸付を行い, 引き続き修学機会の確保を図っていく必要がある。 	<p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 〈施策全般〉 ◆市内8大学等との連携しながら公開講座の充実を図るとともに, 貸付事業については積極的なPRの実施や必要に応じた制度の見直しを行いながら, 高度で専門的な学習機会や場の充実を図っていく。 〈主要事業〉 〈その他個別事業〉